

2021年9月10日

三井化学株式会社

三井化学アグロ株式会社

## 三井化学アグロ、Meiji Seika ファルマの農薬事業を取得

三井化学株式会社（本社：東京都港区、社長：橋本 修）の100%子会社である三井化学アグロ株式会社（本社：東京都中央区、社長：小澤 敏）は、この度、Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、社長：小林 大吉郎）の農薬事業を取得することに合意しましたのでお知らせ致します。

### 1. 本取得の背景及び目的

三井化学グループは、事業活動を通じた社会課題解決への取り組みを進めており、農薬事業を世界的な課題となっている食糧問題の解決に貢献することを目指したターゲット事業領域と位置付けています。

当社グループの農薬事業の中核である三井化学アグロは、有機合成力を基盤に創出した独自の原体をベースに、地域別戦略に基づく国内外での農薬事業の拡大と、農薬事業の周辺領域である PPM（Professional Pest Management）事業の拡大という成長戦略を通じて、持続的な農業の促進と QoL 向上へ貢献することで、「農業化学品分野においてグローバルに存在感のある研究開発型企业」となることを目指しております。

Meiji Seika ファルマの農薬事業は、研究開発型事業として、「自然環境に配慮した農薬を提供し、農業の生産性を向上させることにより、世界的な食糧問題の解決に寄与する」というビジョンを掲げています。また、これまでも世界初の抵抗性誘導型殺菌剤であるプロベナゾールをはじめ、特徴的な非選択性除草剤であるグルホシネート P やミツバチ等に対する環境影響に配慮しグローバル市場での拡販を狙う殺虫剤フルピリミンに代表される独創的な創農薬を実現しており、高い研究開発力を有しています。

本件により、対象事業が保有する原体ポートフォリオ、国内外の顧客基盤、創薬・製剤技術および天然物に関する技術を三井化学アグロと融合していくことで、国内市場におけるプレゼンス向上、および今後成長が見込まれる海外農薬市場への展開加速が可能となります。また、継続的な新規原体創出と市場ニーズに応えるマーケットイン型の製剤開発の強化を図ることができ、当社の長期経営計画の実現及び三井化学アグロの成長戦略を加速させられると考えます。

### 2. 本事業取得のスキーム

Meiji Seika ファルマが新設会社を設立し、同社の農薬事業および同事業に係る子会社の全株式を吸収分割によって新設会社に承継させます。そのうえで、新設会社の発行する全株式を三井化学アグロが取得し、完全子会社化します。当面は、取得した新設会社を三井化学アグロの子会社として運営し、将来的にはシナジーの創出による更なる事業成長を目指して、三井化学アグロと新設会社を合併することを予定しています。

### 3. 取得対象事業の概要

- (1) 事業内容 農薬の研究・開発・製造・販売・輸出入
- (2) 営業所 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、熊本
- (3) 研究 人員・機器等が対象、小田原フィールドセンター
- (4) 子会社 Meiji アグロケミカル（岩手）製造子会社  
メイジ・ファルマ・コリア（韓国）販売子会社
- (5) 従業員数 連結約 110 名



#### 4. 今後の見通し

本件による三井化学グループ業績への影響は軽微であり、業績予想の変更はありません。

以上

#### 参考

##### 三井化学アグロの概要

- (1) 名称 三井化学アグロ株式会社
- (2) 所在地 東京都中央区日本橋1丁目19番1号 日本橋ダイヤビルディング
- (3) 事業内容 農薬、肥料等の研究、開発、製造、販売、輸出入、非農業用殺虫剤の製造販売、建築資材の防虫、防蟻、防湿等の環境管理
- (4) 資本金 350百万円
- (5) 設立 2003年4月1日
- (6) 株主 三井化学株式会社 100%
- (7) 従業員数 連結 594名 (2021年3月末)

##### Meiji Seika ファルマの概要

- (1) 名称 Meiji Seika ファルマ株式会社
- (2) 所在地 東京都中央区京橋二丁目4番16号
- (3) 事業内容 医療用医薬品、農薬、動物薬の製造販売等
- (4) 資本金 28,363百万円
- (5) 設立 1916年10月9日
- (6) 株主 明治ホールディングス株式会社 100%
- (7) 従業員数 連結 5,951人 (2021年3月末)

---

#### <本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 (03-6253-2100)

三井化学アグロ株式会社 総務部 (03-5290-2700)